

「守谷城址」(守谷市指定史跡)

- ※つくばエクスプレス沿線で、遺構がよく保存された中世城郭の土の城として極めてユニークな存在
築城者は、平将門、その子孫を称する相馬氏の始祖師常など諸説あり何れも伝説の域を出ないが、相馬氏の居城だったのは確実
- ※永禄 10 年 (1567) 20 代相馬治胤のとき、北条氏の支配下となり古河公方御座所として増改築、相馬要害と呼ばれた
その後、江戸時代初期の守谷藩は 5 代で廃藩、天領となり廃城
- ※守谷城が最も輝いていた治胤の頃の遺構が保存され、北条流築城術の粹と云われる V 字型の大堀切・空堀や枡形虎口、土橋などの工夫、特殊な地形に合わせた船着場、楯形曲輪など見処が多い
- ※丁寧な説明板と当時の姿を彷彿させるイラストやルート図が各所に配置され、隣接の設備の行き届いた広い公園の散策もとても楽しい



二の曲輪から見下ろした比高 12m の大堀切

守谷城想定図

(平成8年守谷町教育委員会「守谷城址発掘調査報告書」などを元に、永禄11年(1568)北条氏政が古河公方の御座所として増改築した当時の守谷城の姿を推定して制作したもの) *青字は推定



制作：令和元年8月 守谷市観光協会

永禄 11 年 (1568) 北条氏増改築時の推定イラスト



楯形曲輪南の空堀

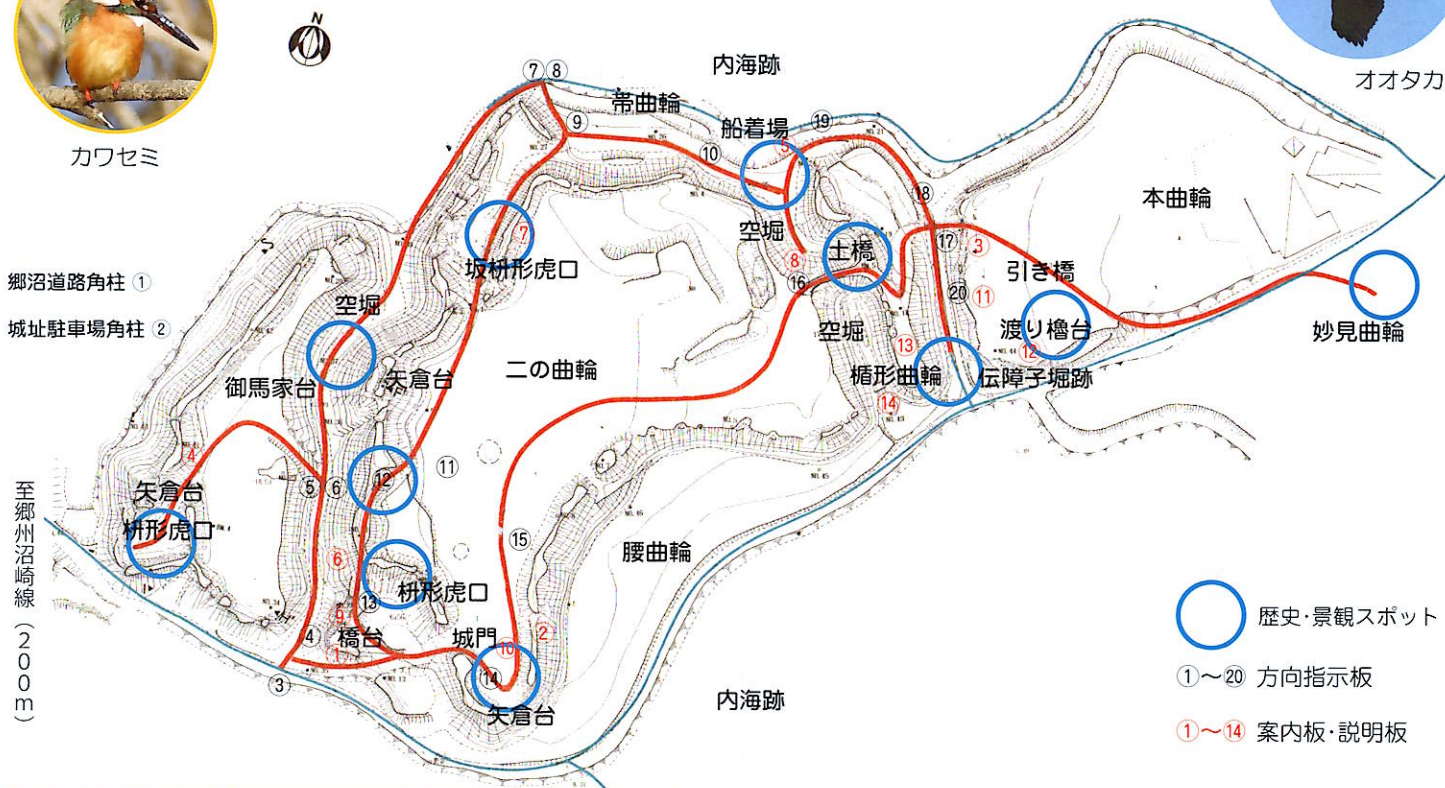
守谷城址場内歩道・説明板設置図



カワセミ



オオタカ



- 歴史・景観スポット
- ①～②① 方向指示板
- ①～①④ 案内板・説明板